



左から竹内理事長、宇野支部長、稲葉、金光、真田理事です。
この日を最後に金光理事は引かれまして。

日中友好協会岡山支部
理事会だよりの

○七年度第12回理事会を開きました。情勢はなんといいながらも四川省大地震M8です。太極拳や本理事会で義援金を集めました。いろいろな集会で義援金を回す予定です。

☆組織
・会員増1名 準会員増3名 準会員減2名が報告されました。
・本部理事の推薦を決め、竹内から小林へ交代することになりました。

・6月15日の総会に向けての議案の検討や準備をしました。役員交代は理事1名と監査2名を承認しました。

☆財政
・大会祝賀広告がぞくぞく入っています。
・大地震募金は5月31日に大阪の中国総領事に渡します。
☆その他
・日中友好新聞「5月25日号に「どう見るチベット問題(上)」が出ていますが、3回の連載のよう

日中友好協会岡山支部
2008年度総会
6月15日(日)10時～
場所:医療生協「コムコム」
(協立病院の裏手、駐車場あります)

今回の新聞に議案書を折りこんでおります。ご一読ください。ご意見等ございましたら、遠慮なく電話、手紙、ファックスなどでお申し出ください。
出席者のみなさまには、お弁当を注文します。500円の参加費で1000円相当の美味しいお弁当です。事前にお申し込みください。

会員のみなさまの出席をお待ちしております。午後には折り鶴の吹き流し作りをいたします。お手伝いをお願いします。

日中友好協会
岡山支部
77044255
岡山市浜3-8-30-514
TEL:086-272-3010
郵便振替口座
01250-0-3835
http://rizhong.jp/index.html

題字 菅原田 親
No. 543
2008/6/5

日中友好新聞
発行所
日本中国友好協会
〒711-0926 東京都千代田区
有明2-1-1 東京マリンビル

2008年第42回
岡山県母親大会
とき:7月13日(日)10時～16時
・10時～12時 分科会
・13時～16時 全体会
ところ:ライフパーク倉敷
資料代:700円(学生・障害者500円)
記念講演《「これまで来ている地球の危機」
—食の安全と環境問題を考える—
講師 白井浩子さん
主催 岡山県母親大会実行委員会・倉敷母親大会実行委員会
○チケットは、稲葉理事までお申し付けください。

ドキュメンタリー映画 **花の夢**
—ある中国残留婦人—
—中国の大地に置き去りにされた女性たち—
中国残留婦人」を知っていますか?
☆参加費:800円
☆とき:08年7月5日(土)
午前10:00～午後6:10
☆ところ:医療生協コムコム
午前10:00～11:40
(医療生協コムコムには駐車できません)
ソラニエ看護専門学校
午後2:00～3:40 午後4:30～6:10
主催:映画『花の夢』上映実行委員会
お問い合わせ:日中友好協会岡山支部
☎086-272-3010(竹内)086-277-2470(小林)

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhong.web.infoseek.co.jp
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

岡山市の
保険に入っています。

今年もボランティア活動保険に加入しています。岡山支部理事会のメンバー11人、中国語講座講師4人、日本語教室講師17人計32人の皆さんの個人名を登録しました。それぞれの活動場所と、そこへの往復などで交通事故など(加害・被害とも)で、医療を受けたときは、すぐ領収書を添えて遠慮なく申し出てください。

竹内和夫

第33回中国料理教室へのお誘い



今回は、内モンゴル出身の馬小菲さんを講師にお招きして、中国東北部の家庭料理を教えてください。
(献立)

- ①主食: 馅儿饼(シエンアルピン)
- ②锅包肉(クウオーパオロウ)
- ③酸辣汤(スウアンラアタン)
- ④デザート: 拔丝奶豆腐(バースーナイドーフ)

* 日時 6月22日(日曜日) 10時～14時
* 場所 大元公民館(岡山市大元上町10-31)
* 会費 1,100円(日中友好協会会員1,000円)
{お申し込み先}

竹内けさゆき まで TEL:086-264-1414
携帯 090-2869-3113 Eメール rizhong86@hotmail.co.jp

お申し込みは準備の都合がありますのでなるべくお早めにお願ひいたします。当日持参するもの エプロン、料理が残ったときのためにタッパーをご持参ください。

主催:日中友好協会岡山支部 岡山市浜3-8-30-514
TEL086-272-3010

残留孤児」訴訟支える会、「発展的解散」

日本語教室など 孤児問題」支援を継続

新支援制度成立と訴訟取下げに伴い、中国「残留孤児」訴訟を支える岡山県民の会(岩間一雄会長)が五月をもって活動の幕を閉じた。

今後ともメンバーを中心に、日本語教室の継続や新支援法実施サポートなどの「孤児問題」全面解決に積極的に取り組んでいくこととしており、いわば「発展的解散」の形となった。

同会は、二〇〇三年秋に着手された原告や弁護士による訴訟準備と歩調を合わせて、同年一〇月に結成された。〇四年二月二〇日の岡山地裁への第一次提訴以来、口頭弁論傍聴、街頭アピール署名募金、講演や体験を語る会による「孤児」問題の理解拡大、全国各地の集會や統一行動への参加、そして、日本語教室の開設など多方面から訴訟を後押しする活動を4年半にわたって続けてきた。訴訟は、「新支援法」(改正「中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律」、〇七年二月五日公布)の成立で、訴訟目的の柱の一つであった「新給付金制度」が実現したことで、〇八年二月二日、判決を見ないまますべて取下げられ、口頭弁論が計14回に及んだ裁判は終結した。

五月二五日岡山市立岡西公民館で開かれた最後の幹事会。まず、竹内和夫副会長が、原告・弁護士・支える会の三者が手を組んでやってきた。判決なしで終わったが、最終的にはいい結果であった。新給付金の支給も来月から始まるが、まだ二・三世問題など今後の活動の中でや



中国「残留孤児」訴訟を支える岡山県民の会 第8回幹事会(岡西公民館)

害」という主張が生かされ、訴訟を提起した意義があった。第二は、原告・弁護士・支える会が三者一体となった大衆的裁判闘争の成果であったこと。岡山は全国でも最もうまくいったケースで、岡山の闘いは重要な教訓を残した。最後は、政策は勝ち取ったものの、課題はまだいろいろ残っていること。制度の実施に当たって、細かいところが詰められていないのと、制度の趣旨を理解していない行政窓

るべき課題は多い」とあいつ。原告団の高杉久治団長、高見英夫事務局長は、新支援策ができて、大変うれしい。後ろに多くの支えがあったからこそ実現できたことで、感謝していると語った。

弁護団の則武透事務局長が、訴訟を総括して次のように述べた。3点申し上げたい。第一は、四年間の闘いは、何によって勝ち取られたか、ということ。訴訟関係者の中には、国が責任を明確化していないのに、政治的妥協をすることに反対だとする人もいるが、われわれは損害賠償獲得が目的ではなく、安心できる老後を目指す政策形成訴訟と考えていたし、この新法成立に結びついたのは、画期的な神戸判決を勝ち取ったことだった。そして、この勝訴判決には、岡山弁護団の帰国する権利の侵

害」という主張が生かされ、訴訟を提起した意義があった。第二は、原告・弁護士・支える会が三者一体となった大衆的裁判闘争の成果であったこと。岡山は全国でも最もうまくいったケースで、岡山の闘いは重要な教訓を残した。最後は、政策は勝ち取ったものの、課題はまだいろいろ残っていること。制度の実施に当たって、細かいところが詰められていないのと、制度の趣旨を理解していない行政窓

口の厳しい対応のために、無用の混乱が起きている。新制度に命を吹き込むのは「これから」事務報告の中で、小林軍治事務局長は今後も、岡山・倉敷・総社での日本語教室は継続、強化して行くために、国民に保障する権利は、国民の不断の努力で、これを保持しなければならぬに謳われているように、制度に魂を入れる努力を、われわれとしても続けたいと、支える会の解散は一つの区切り過ぎないことを強調した。

トークイン岡山 ピューリッツ賞記念講演会 「日本社会の問題と長井健司」



日時：2008年6月15日(日) 18:30~20:00 (開場 18:15)

講師：島田裕巳

長井さん署名呼びかけ人。宗教学者、東京大学先端研客員研究員、中央大学法学部兼任講師。

『日本の10大新宗教』『宗教としてのバブル』(幻冬舎新書)など著書多数。

進行：木下黄太

当会代表。ジャーナリスト。

場所：岡山天神山文化プラザ内 ホール

先着150名 資料代500円

※予約も受け付けています。

予約：TEL 03-3746-0065

Eメール kansai_nagai@yahoo.co.jp

主催：「ミャンマー軍による長井さん殺害に抗議する会」

次回の新聞発送作業は
6月11日水午後1時半
民主会館3階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

小林
竹内和
竹内袈

9条・岡山県医師歯科医師の会 第7回憲法講演会のご案内

テーマ 医師の戦争責任と戦後処理

～731部隊、日独戦後処理の比較にふれて

講師 滋賀医科大学名誉教授(社会医学講座)

西山勝夫先生

日時 6月8日(日) 午後4時~6時

会場 福武ジョリービル4階ゴールデン

岡山市中山下1-10-30(天満屋バスステーション北西) 電話086-231-1275

加費 無料 どなた様でもご参加いただけます。ぜひ、お越し下さい

731部隊、生体解剖事件など日本医学界の戦争荷担に対する戦後の対応。731部隊関係者によるミドリ十字設立と薬害。戦争責任に対する日本とドイツの戦後処理の比較などについてお話しいただきます。

西山勝夫先生は、滋賀医科大学社会医学講座予防医学分野に所属。専門は、社会医学、労働衛生学、人間工学。近著「戦争と医の倫理」など。15年戦争と日本の医学医療研究会事務局長

主催：9条の会・岡山県医師歯科医師の会

事務局：岡山市湊374-3 湯原内科医院

Fax086-276-3629

後援：岡山県9条の会 弁護士9条の会・岡山 岡山宗教者9条の会
岡山マスコミ9条の会 科学者9条の会・岡山